

「網膜変性疾患における自覚的視機能検査と他覚的網膜検査を比較する後ろ向き観察研究」に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター眼科では、「網膜変性疾患における自覚的視機能検査と他覚的網膜検査を比較する後ろ向き観察研究」を実施することになりました。

この研究の目的は、患者さんの自覚的な見え方と、網膜の客観的な検査所見（画像所見、電気生理学的所見等）の関係を調べ、より正確な診療に役立てることです。

この研究のため、2008年4月1日から、2025年3月31日までに外来受診した方の診療録の調査を行います。対象となるのは当院で網膜変性疾患と診断された方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（視力、視野、眼底画像、網膜電図所見等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の代表であります角田和繁が厳重に管理します。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年8月

研究責任者

東京医療センター眼科 角田和繁

連絡先 03-3411-0111(代表)